

あたらしくはいった本 (平成30年11月 貸出開始資料から)

●小説 14歳、明日の時間割(鈴木るりか/著) 血の雫(相場英雄/著)
東京輪舞(月村了衛/著) パワー(ナオミ・オルダーマン/著)
ヘブン(新野剛志/著) ダンデライオン(中田永一/著)
白いジオラマ(堂場瞬一/著) ヨーゼフ・メンゲレの逃亡(オリヴィエ・ゲーズ/著)

●随筆・詩などの文学 宮部みゆき全一冊(宮部みゆき/著)
先生、ちょっと人生相談いいですか?(瀬戸内寂聴、伊藤比呂美/著)
ごめん買った(吉田戦車/著) “介護後”うつ(安藤和津/著)
母の教え(姜尚中/著)

●その他の本 語り継ぐこの国のかたち(半藤一利/著) 没イチ(小谷みどり/著)
やわらかいごちそう(川上文代/著) 47都道府県政治地図(八幡和郎/著)
払ってはいけない(荻原博子/著) 好日日記(森下典子/著)
血圧の薬はやめてもよいか?(岡田正彦/著)



『14歳、明日の時間割』
鈴木るりか著、小学館



『先生、ちょっと人生相談いいですか?』
瀬戸内寂聴著 伊藤比呂美著
集英社インターナショナル



『没イチ パートナーを亡くしてからの生き方』
小谷みどり著、新潮社

みんなの としょかん



市民図書館

TEL (921) 4646

FAX (921) 4896

<http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

としょかんカレンダー

平成31年	日	月	火	水	木	金	土
				①	②	③	④
1	6	⑦	8	9	10	11	12
	13	14	⑮	16	17	18	19
	20	⑳	21	22	23	24	25
	27	⑳	28	29	⑳	30	31

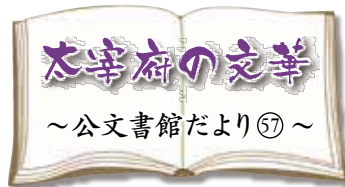
○のついた日は休館日

金・土曜日(祝日を除く)は午後7時まで開館しています。

「だざいふのとしょかん 平成29年度の報告」を
発行しました。詳しくは、市民図書館ホームページ
をご覧ください。

鎮西米の東大寺運上

東大寺は、古代以来の基本的な財源である封戸(律令制における親王・貴族・寺院等への俸禄の一つ)が9・11世紀に次第に形骸化してくるなかで、新たな財源確保のため、保安元(1120)年に観世音寺の末寺化を果たします。観世音寺領から東大寺へ納入される年貢米を鎮西米と称し、この鎮西米は、長きにわたって東大寺の諸法会を支える重要な財源として機能しました。



期までは350石の運上で固定化されていたと考えられます。南北朝期以降は運上が滞り、量も大幅に少なくなりましたが、室町期にいたっても東大寺の史料中に鎮西米の存在は確認できることから、このころまでは鎮西米の運上が存続していたようです。

近年、三輪眞嗣氏が東大寺の財政構造に関する研究として、鎌倉期における鎮西米の基礎的な考察内容として、「東大寺年中行事」の分析からみる鎮西米の財源としての特徴を明らかにされました。これによると、鎮西米は12月から6月にかけて観世音寺領庄園から数度に渡って東大寺に運ばれ、多額なことで東大寺内に数カ月わたってプールされる財源であったことから、

他の財源で支払われるべき用途にも流用される柔軟性を有していたことを指摘しています。また、「東大寺年中行事」の分析からは、東大寺財政の中で大半を占めるのは寺領庄園ではあるものの、鎮西米は比較的少額の多様な用途に下行されており、庄園などからの収入を補充し、諸法会の勤修を維持するために不可欠な財源であったとされています。従うべき見解でしょう。

0石と記しており、少なくともこの時

公文書館 朱雀 信城